

# 日本万国博覧会記念公園の 活性化に向けた

## 中期アクションプラン

2026年3月  
大阪府

# 目次

---

1

「日本万国博覧会記念公園の活性化に向けた将来ビジョン2040」における目標・基本方針、取組の方向性

2

アクションプランについて（ビジョン2040より）

3

アクションプランの計画期間

4

数値目標（KPI等）

5

基本的な取組

6

重点項目

7

主な取組スケジュール

# 1. 「日本万国博覧会記念公園の活性化に向けた将来ビジョン2040」における 目標・基本方針、取組の方向性

「日本万国博覧会記念公園の活性化に向けた将来ビジョン2040」（以下、「ビジョン2040」）では、基本テーマ、基本理念、めざすべき公園像、存在意義と3つの目標、基本方針や、2030年にめざす公園像を掲げている。

【基本テーマ】

**人類の進歩と調和**

【基本理念】

**緑に包まれた文化公園**

【めざすべき公園像】

**緑と文化・スポーツを通じて人類の創造力の源泉である生命力と感性が磨かれる公園**

【存在意義】

**大阪万博の精神と文化遺産を継承するとともにその再生を図り、多様な人々や自然とつながる持続可能な未来に向かう交流の場を生み出す**

目標 1

**多様な人々が交流交歓を通じ、  
喜びや希望を感じられる場の  
実現**

目標 2

**豊かな未来を考え、  
行動を促す場の実現**

目標 3

**世界に誇る文化・  
スポーツ拠点の形成**

基本方針 1

**将来にわたり、すべての人が  
安心して快適に利用できる、  
多様性と調和に満ちた公園**

基本方針 2

**レガシーの活用と、万博の森  
づくりの文化活動等を通じ、  
未来を創造する力を育む公園**

基本方針 3

**文化・スポーツの拠点として、  
国内外から観光客を含む多く  
の人々を呼び込み、新しいラ  
イフスタイルを体験できる公園**

# 1.「日本万国博覧会記念公園の活性化に向けた将来ビジョン2040」における 目標・基本方針、取組の方向性

## 目標 1 多様な人々が交流交歓を通じ、喜びや希望を感じられる場の実現

基本方針 1 将来にわたり、すべての人が安心して快適に利用できる、多様性と調和に満ちた公園

### 取組の方向性

- A. 誰もが安全安心、快適に公園を利用できるよう、バリアフリー化、ユニバーサルデザインの導入等に取り組むとともに、DX等を推進し、ハンディキャップの解消やより快適な公園利用等、利用者の多様なニーズに対応できるよう環境整備を進める。施設改修計画に基づき、来園者が安心して快適に利用できるよう公園施設の計画的な整備・保全・改修を進めるとともに、民芸館、EXPO'70パビリオン、太陽の塔等レガシー施設等の大規模更新を行う。  
(ゾーン：全域)
- B. 様々な立場の人が交流交歓し、喜びや希望を感じることができる公園をめざす。(ゾーン：全域)
- C. 日々の生活によりそう普段使いの公園をめざすとともに、イベントなど各種催しや新しい取組等による非日常を楽しむための場所づくり等、両面から取り組む。(ゾーン：アクティブゾーン)
- D. 指定管理者制度による民間ノウハウの活用や、DX等の推進により、効果的・効率的な公園運営を行うことで、持続可能な財務運営体制づくりに取り組む。(ゾーン：全域)

# 1.「日本万国博覧会記念公園の活性化に向けた将来ビジョン2040」における 目標・基本方針、取組の方向性

## 目標2 豊かな未来を考え、行動を促す場の実現

基本方針2 レガシーの活用と、万博の森づくりの文化活動等を通じ、未来を創造する力を育む公園

### 取組の方向性

- E.約19万点に及ぶレガシーの保存・活用・魅力向上を図るため、レガシーの電子化とともに、「（仮称）アーカイブセンター」の設置を行い、豊かな未来をめざすための発信を積極的に進める。太陽の塔は世界遺産登録をめざし、日本庭園は将来的に名勝指定もめざす。（ゾーン：レガシーゾーン）
- F.公園の豊富なリソースを活かし、未来を考える場としての利活用を推進するため、未来の主演である子どもたちをはじめ、多世代が参画する体制づくりや環境整備を行い、STEAM教育等が展開される場をめざす。（ゾーン：ネイチャーゾーン）
- G.万博の森づくりを継続し、豊かな生物多様性を持ち、人と自然がふれあえる健全な森をめざす。ボランティア等の様々な主体が森づくりに関わる仕組みをつくる。研究の場として、さらにレクリエーションや健康増進の場としての活用を広げる。（ゾーン：ネイチャーゾーン）
- H.国立民族学博物館等と連携し、学術的な交流の場として発展をめざす。（ゾーン：アカデミックゾーン）

# 1.「日本万国博覧会記念公園の活性化に向けた将来ビジョン2040」における 目標・基本方針、取組の方向性

## 目標3 世界に誇る文化・スポーツ拠点の形成

基本方針3 文化・スポーツの拠点として、国内外から観光客を含む多くの人々を呼び込み、新しいライフスタイルを体験できる公園

### 取組の方向性

- I. インターメディア的なアートの実験都市であった大阪万博を記念し、大阪万博や万博の森などをテーマとするアート&サイエンスフェスティバルの実施や、EXPO'70パビリオン別館等新たな施設整備により都市魅力の創出を図るとともに、万博記念公園や大阪万博レガシーの効果的なPRを行う。(ゾーン：全域)
- J. 国内外の人々が訪れたい公園を目指して、民間活力を導入し、公園内外のさまざまな団体・施設と協力・連携しながら、世界に誇る文化・スポーツ拠点として、新しい魅力創出等、さらなる活性化を図る。(ゾーン：スポーツ・レクリエーションゾーン)
- K. 万博記念公園駅前周辺地区活性化事業の推進・連携等を通して、これまでにない新しい交流交歓のあり方を探る先進的エリアとして、新しいライフスタイルを体験できる拠点づくりに取り組む。(ゾーン：スポーツ・レクリエーションゾーン)

## 2. アクションプランについて（ビジョン2040より抜粋）

大阪万博50周年を経て策定される新たな将来ビジョンは、次の夢を語るものとして大阪万博100周年への方向性となります。また、万博記念公園駅前周辺地区活性化事業の事業期間も50年であることから、万博記念公園全体として相乗効果を生み出していくためにも、50年先の未来を視野に入れることが重要です。

そのうえで、事業の具体的な展開を図る観点から、見通しが可能な計画期間を設定することとし、SDGs達成期限である2030年を結節点として、それまでの約10年間と、その10年後の「2040年」までを計画期間として設定します。

具体的な取組については、公園を取り巻く環境の変化に柔軟に対応しながら取組を進めていくため、5年程度で更新するアクションプランを策定し、さらに必要に応じて適宜見直しを行うこととします。

その際、2040年までの計画期間を下記3つに区分し、段階的に万博記念公園の活性化を図っていきます。

また、将来ビジョンの達成状況の確認・評価については、旧ビジョンにおいて自然文化園の来園者数という単一の指標を設定してきましたが、具体的な施策を踏まえ、来園者数に加え複数のKPIをアクションプランで設定します。

短期 (2025年度まで)	3つの目標実現に向けた取組に着手し、大阪・関西万博のインパクトも活かしながら、「世界第一級の文化・観光拠点の『進化・発信』」を行います。
中期 (2030年度まで)	世界最先端のアリーナを中核とする文化・スポーツ拠点の形成等を通じ、さらなる観光の促進を図るとともに、2030年を目標年度とするSDGs達成に貢献します。
長期 (2040年度まで)	万博記念公園駅前周辺地区活性化事業との相乗効果等により、国内外からより多くの人々を呼び込むことで、「生命力と感性が磨かれる公園」として世界における存在感を確立し、さらなる都市の魅力の創出を図ります。

### 3. アクションプランの計画期間

アクションプランは、ビジョン2040の実現に向け、具体的な取組施策等を示すもの。公園を取り巻く環境の変化に柔軟に対応しながら取組を進めていく。

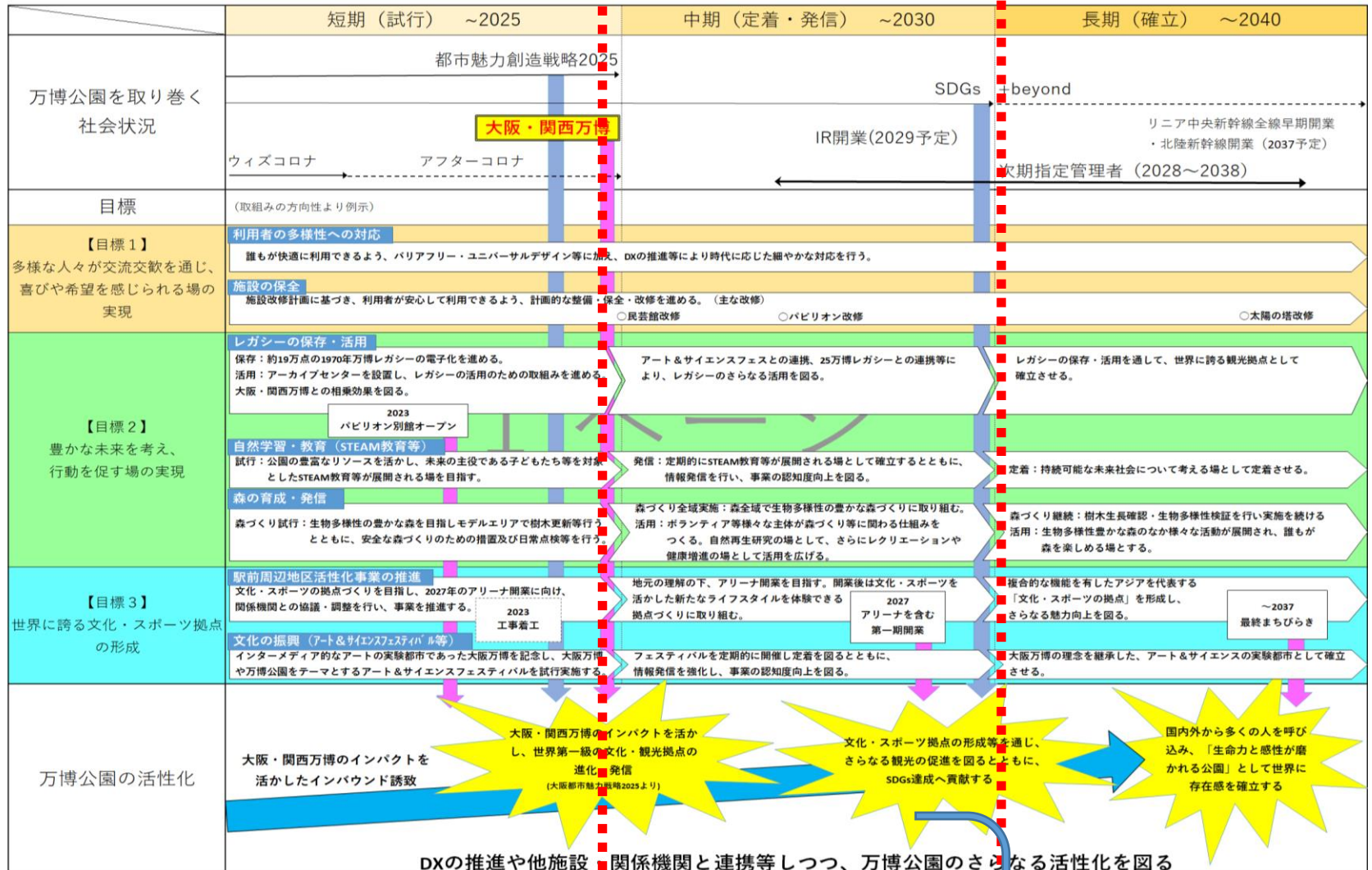
中期のアクションプランは世界最先端のアリーナを中心に、さらなる観光の促進を図るとともに、2030年を目標年度とするSDGs達成に貢献するため、2030年度までを期間とする（以下、2026年度～2030年度のアクションプランを「中期アクションプラン」とする）。以降10年程度の期間で定め、必要に応じて、期間中に適宜見直しを行う。

アクションプランスケジュール（予定）

	短期 (-2025年度)	中期 (2026年度-2030年度)	長期 (2031年度-2040年度)
ビジョン 2040	ビジョン（～2040）		
アクションプラン	アクションプラン （～2025）	アクションプラン （2026～2030）	アクションプラン （2031～2040）
公園を取り巻く 主な社会状況 等の変化	◆大阪・関西万博開催（2025年4～10月）	◆指定管理第2期開始（2028年10月予定）	◆万博記念公園駅前周辺地区活性化事業 アリーナ開業（2030年） ◆万博記念公園駅前 周辺地区活性化事業 全施設開業 （2038年）
		◆IR開業（2030年秋）	

# 参考：日本万国博覧会記念公園の活性化に向けた将来ビジョン2040におけるロードマップ

## 本アクションプラン期間



DXの推進や他施設 関係機関と連携等しつつ、万博公園のさらなる活性化を図る

### 2030にめざす公園像

世界最先端のアリーナを中核とする文化・スポーツ拠点の形成等を通じ、さらなる観光の促進を図るとともに、2030年を目標年度とするSDGs達成に貢献。

## 4. 数値目標 (KPI等)

中期アクションプランにおける数値目標は300万人とする。

達成に向け、進捗状況を管理・確認するため、KPI (重要業績成果指標) として初来園者数とリピーター数を設定する。

数値目標	重要成功要因	KPI (重要業績成果指標)	取組	参考指標
<p>自然文化園 来園者数</p> <p>250万人 (2024年度)</p> <p>↓</p> <p><b>300万人 (中期アクション プラン)</b></p>	<p>・数値化しない</p> <p>初来園者獲得</p> <p>リピート促進</p>	<p>・検証、見直し、再設定する</p> <p>初来園者数 34万人 (2024年度)</p> <p>↓</p> <p><b>55万人以上 (中期アクションプラン)</b></p> <p>リピーター数 216万人 (2024年度)</p> <p>↓</p> <p><b>245万人以上 (中期アクションプラン)</b></p>	<p>・検証、見直し、再設定する</p> <p>○EXPO'70パビリオン別館の展示リニューアル ○2025年万博のレガシーの魅力発信 ○イベント等による大阪万博・公園の魅力発信 (アート&amp;サイエンスフェスティバル等の開催) ○太陽の塔・日本庭園・EXPO'70パビリオン等 レガシー施設の魅力向上 ○万博記念公園駅前周辺地区活性化事業の推進</p> <p>○安全安心のための施設維持等 ○万博の森づくりの推進、利用促進 ○持続可能な財政運営のための各種検討 ○公園関係団体との連携 ○教育・学習プログラムの検討 ○来園者が快適に過ごせる環境づくり ○公園を楽しむコンテンツの充実</p>	<p>・着目すべき事項として、 下記をモニタリングし検証 を始める</p> <p><b>SNS等の活性状況</b> ・Instagram フォロワー数 ・フェイスブック ファン数</p> <p><b>自然文化園以外の 公園施設利用状況</b> ・スポーツ施設利用者数</p> <p><b>インバウンド</b> ・海外からの来園者数</p> <p><b>公園の質</b> ・来園者満足度 ・来園回数動向</p>

## 5.基本的な取組

### ○安全安心のための施設維持、魅力向上

ビジョン／目標 1 基本方針 1 取組の方向性：A（3頁参照）

- ・2025年度の施設健全度調査結果に基づき、2026年度に長寿命化計画（施設改修計画）を定める
- ・本計画に基づき、2026年度から2030年度の施設整備・保全・改修の項目を実施する
- ・持続可能な公園運営に向けた手法を検討する

### ○持続可能な財務運営のための各種検討

ビジョン／目標 1 基本方針 1 取組の方向性：D（3頁参照）

- ・国庫補助や地方債の活用等を検討する
- ・公園用地貸付や未利用地の活用について検討する

### ○万博の森づくりの推進、利用促進

ビジョン／目標 2 基本方針 2 取組の方向性：G（4頁参照）

- ・生物多様性が豊かで人と自然がふれあえる森を目指し、施業手法を検討し、モデルエリアでの施業を試行実施する
- ・安全対策を実施し、森の利用を促進する

### ○公園関係団体等との連携

ビジョン／目標 2 基本方針 2 取組の方向性：H（4頁参照）

- ・国立民族学博物館等の公園関係団体と連携し、効果的なイベント等の取組を継続する

### ○万博記念公園駅前周辺地区活性化事業の推進

ビジョン／目標 3 基本方針 3 取組の方向性：J,K（5頁参照）

- ・2030年度のアリーナ等開業に向け、関係機関や地元等との調整を行いつつ、各種工事を進める

## 6.重点項目

2025年度に開催された大阪・関西万博により、注目度が上がった大阪万博や万博記念公園の魅力を発信し、万博記念公園へ来園者を誘致するため、3つの重点項目を定める。

### 重点項目1 「多様な人々が安心して利用できる公園づくり」

DXや先端技術を活用し、多様なニーズへの対応策を構築するとともに、公園の日常利用を促進する

### 重点項目2 「未来を創造する力を育む場づくり」

万博記念公園の豊富なリソースを最大限に活用し、未来へ向かう交流交歓の場を多世代にわたって形成する

### 重点項目3 「世界に誇る文化・スポーツの拠点づくり」

1970年大阪万博のレガシー施設の魅力向上等により、世界に誇る文化・スポーツの拠点を形成する

## 6.重点項目

### 重点1「多様な人々が安心して利用できる公園づくり」

#### ○園内のバリアフリー化、ユニバーサルデザインの導入

ビジョン／目標1 基本方針1 取組の方向性：A（3頁参照）

- ・無料区域トイレのユニバーサルデザイン化・美装化を長寿命化計画（施設改修計画）に基づく保全・改修工事に合わせ実施する

#### ○ODXや先端技術による変革

ビジョン／目標1 基本方針1 取組の方向性：A（3頁参照）

- ・デジタルマップや案内タブレット等をスマート化し、障がい者歩行支援アプリの導入を継続的に実施する
- ・駐車場や入園券のキャッシュレス化を実施するとともに、パークタクシーを継続的に園内で運行させる

#### ○公園施設の計画的な整備・保全・改修

ビジョン／目標1 基本方針1 取組の方向性：A（3頁参照）

- ・2026年度に策定する長寿命化計画（施設改修計画）に基づき民芸館、EXPO'70パビリオンなどのレガシー施設の大規模更新を実施する
- ・2024年度及び2025年度に実施した園内18橋梁の定期点検（5年毎に実施）の結果を長寿命化計画（施設改修計画）にも位置づけ、優先度を定めながら、計画的に補修工事を実施する
- ・本計画に基づき、電力設備、井戸設備、券売機ネットワーク設備等を計画的に改修する

#### ○持続可能な財務運営体制づくり

ビジョン／目標1 基本方針1 取組の方向性：D（3頁参照）

- ・国庫補助や地方債の活用等を検討する
- ・公園用地貸付や未利用地の活用について検討する

## 6.重点項目

### 重点2 「未来を創造する力を育む場づくり」

#### ○大阪万博資料のアーカイブ化と公開

ビジョン／目標2 基本方針2 取組の方向性：E（4頁参照）

- ・大阪万博資料のデジタルアーカイブ化について、資料閲覧システム（プラットフォーム）を構築し、運用に向けた調整を行う

#### ○太陽の塔・日本庭園・EXPO'70パビリオン等 レガシー施設の魅力向上

ビジョン／目標2 基本方針2 取組の方向性：E・H（4頁参照）

- ・太陽の塔の世界遺産登録をめざし、重要文化財指定を広報する取組を推進（ポスター作成等）
- ・登録記念物に登録された日本庭園の魅力を発信するため、正門の一部改修を行いインフォメーションセンターの整備を行う
- ・EXPO'70パビリオンなどの登録有形文化財への登録に向け、施設整備を行う
- ・大阪万博魅力発信イベントとして、アート&サイエンスフェスティバル等を開催し、2025年大阪・関西万博にて上映した映像コンテンツを活用したイベントを実施する（大阪万博のパビリオン紹介）
- ・EXPO'70パビリオンの展示リニューアルに向けた施設整備を行う
- ・国立民族学博物館との連携プログラムを実施する（イベント等の実施を検討する）
- ・継続的に教育庁主催の研修会の場にて、平和の鐘について紹介を行い、平和に関する校外学習の機会提供を行う

## 6.重点項目

### 重点2 「未来を創造する力を育む場づくり」

#### ○STEAM教育・ESD等の学習プログラム試行展開

ビジョン／目標2 基本方針2 取組の方向性：F（4頁参照）

- ・公園資源を活かしたSTEAM教育体験学習等を実施する  
「ザリガニハンター」…楽しく体験しながら学ぶことで主体的な学習姿勢を育成することを目的に、多様な生き物の生息空間を脅かす特定外来生物の駆除を行う  
「バイオネスト整備」…園内から排出される落葉、剪定枝等を堆肥化し資源循環を行う 等
- ・自然観察学習館での体験学習（工作イベント、自然観察等）を通して、地球温暖化や生物多様性等の課題を自分事として捉え、その解決に向けて自ら行動を起こす力を身に付けるための教育（ESD）を実践する

#### ○万博の森づくりに関する計画の検討や景観整備

ビジョン／目標2 基本方針2 取組の方向性：G（4頁参照）

- ・生物多様性が豊かで人と自然がふれあえる森づくりをめざし、種の多様性や林層構造の複層化を行うための事業手法を検討するモデルエリアを複数設定、施業を試行し、万博の森づくりアクションプランを策定する
- ・チューリップの花園やケヤキの丘の改修工事を行い、見どころの魅力向上を図る

## 6.重点項目

### 重点3 「世界に誇る文化・スポーツの拠点づくり」

#### ○イベントを通じた魅力発信

ビジョン／目標3 基本方針3 取組の方向性：C・I（3・5頁参照）

- ・大阪・関西万博のレガシーを活用し、魅力を発信する（日本庭園休憩所におけるヨルダンパビリオンの砂の展示等）
- ・大阪万博魅力発信イベントとして、アート＆サイエンスフェスティバル等を開催し、2025年大阪・関西万博にて上映した映像コンテンツを活用したイベントを実施する（大阪万博のパビリオン紹介）（再掲）

#### ○万博記念公園の新たな魅力の価値創出

ビジョン／目標3 基本方針3 取組の方向性：B・I（3・5頁参照）

- ・EXPO'70パビリオンの展示リニューアルに向けた施設整備を行う（再掲）

#### ○スポーツイベント誘致等によるスポーツ振興

ビジョン／目標3 基本方針3 取組の方向性：C・J（3・5頁参照）

- ・スポーツイベントやスポーツ施設を使用したイベント等の誘致及び開催する（例：スパルタンレース、トライアスロン等）
- ・地域住民を対象としたスポーツスクールや障がい者スポーツ大会を開催する

#### ○万博記念公園駅前周辺地区の活性化

ビジョン／目標3 基本方針3 取組の方向性：J・K（3・5頁参照）

- ・アリーナ等の建設及び交通環境整備に関する工事に着手し、事業の推進を図る

# 7. 主な取組スケジュール

	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)	備 考 (主なもの)
<b>基本的な取組</b>						
スポーツ施設改修						R8 : ① 陸上競技場のトラック改修 R7年度の施設健全度調査結果に基づき、各スポーツ施設の改修優先度（長寿命化計画）を定める 陸上競技場において2種公認を継続し、より質の高い競技環境の提供を行う R9～R12 : ② 長寿命化計画（施設改修計画）に基づく各施設の改修工事を順次実施
橋梁耐震及び補修工事						R8 : ① 無名橋耐震化（園内大階段部） R9～R12 : ② R6年度とR7年度実施の定期点検結果に基づき、補修の優先度（長寿命化計画）を定め順次実施
持続可能な財務運営						R8～R12 : 公園用地貸付を継続し、未利用地の活用を検討
万博の森づくり						R8 : ① モデルエリア試行実施 チューリップの花園改修工事 自然共生サイト認定検討 R9 : ① モデルエリア試行実施 けやきの丘改修工事 R10～12 : ② モデルエリア試行実施 森づくりアクションプラン策定
万博記念公園 駅前周辺地区活性化事業						R8 : アリーナ等の建設及び交通環境整備に関する工事に着手 R12 : アリーナ（第1期）開業

# 7. 主な取組スケジュール

	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)	備考(主なもの)
<b>重点1「多様な人々が安心して利用できる公園づくり」</b>						
園内トイレ美装化改修 (再掲)						R8 : ① R7年度の施設健全度調査結果に基づき、改修優先度(長寿命化計画)を定める R9~R12 : ② 長寿命化計画(施設改修計画)に基づく各便所の改修工事に合わせ美装化工事を順次実施
案内タブレットの設置 障がい者歩行支援アプリの 導入						R8~R9 : ① 指定管理者により、実施 R10~R12 : ② 指定管理者変更時に事業継続検討
陸上競技場の大規模改修 (再掲)						R8 : 陸上競技場のトラック改修
橋梁補修 (再掲)						R8 : ① 無名橋耐震化(園内大階段部) R9~R12 : ② R6年度とR7年度実施の定期点検結果に基づき、補修の優先度(長寿命化計画)を定め順次実施
井戸設備の改修						R8 : ① 日本庭園ポンプ設備改修 R9~R12 : ② 日常的な維持管理、点検結果により機能が果たせなくなった段階で順次更新工事を実施
持続可能な財務運営 (再掲)						R8~R12 : 公園用地貸付を継続し、未利用地の活用を検討

## 7. 主な取組スケジュール

	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)	備考(主なもの)
<b>重点2「未来を創造する力を育む場づくり」</b>						
大阪万博資料の アーカイブ化と公開	① →		② →			R8 : ① 資料閲覧システム（プラットフォーム）の構築 公開用画像及び映像作成 R9～R10 : ② 公開用画像及び映像作成、プラットフォーム運用開始
太陽の塔 世界遺産登録	① →		② →			R8 : ① 太陽の塔の重要文化財指定に関するポスター作成等 R9～R12 : ② 世界遺産登録に向けたその他取組
日本庭園の施設整備	① →		② →			R8 : ① はず池欄干塗装塗替工事 インフォメーションセンター整備 R9～R12 : ② 灌水設備、八つ橋等老朽化施設の改修工事
EXPO'70パビリオン別館の 施設整備	① →		② →			R8 : ① 外観工事開始、展示構想の検討 R9 : ① 内装設計開始、案内サインの設置 R10～R11 : ② 内装の改修工事
アート＆サイエンスフェスティバルによる魅力発信	① →		② →			R8 : ① アート＆サイエンスフェスティバル（2回目）実施 今後のイベントの実施可否を検討 R9～R12 : ② 来園者増に向けたイベント企画の検討

## 7. 主な取組スケジュール

	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)	備考(主なもの)
<b>重点2「未来を創造する力を育む場づくり」</b>						
EXPO'70パビリオンの 魅力向上 (展示のリニューアル)	① →		②			大阪万博開催から60周年を記念し、展示をリニューアルする R8：① 展示リニューアル基本構想の作成 R9～R11：② 展示リニューアル工事実施 R12：② 供用開始
STEAM教育の 学習プログラム展開	① →		②			R8～R9：① 民間企業との連携検討 自然観察学習館での工作イベント、自然観察 R10～R12：② 自然観察学習館での工作イベント、自然観察 (指定管理者変更時に事業継続検討)
万博の森づくりに関する アクションプランの作成	① →		②			R8～R9：① モデルエリア試行実施 R10～12：② モデルエリア試行実施 森づくりアクションプランを策定する

## 7. 主な取組スケジュール

	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)	備考(主なもの)
<b>重点3「世界に誇る文化・スポーツの拠点づくり」</b>						
アート&サイエンスフェスティバルによる魅力発信(再掲)	① →		② →			R8 : ① アート&サイエンスフェスティバル(2回目)実施 今後のイベントの実施可否を検討 R9~R12 : ② 来園者増に向けたイベント企画の検討
EXPO'70パビリオンの魅力向上(展示のリニューアル)(再掲)	① →		② →			大阪万博開催から60周年を記念し、展示をリニューアルする R8 : ① 展示リニューアル基本構想の作成 R9~R11 : ② 展示リニューアル工事実施 R12 : ② 供用開始
スポーツイベント誘致等によるスポーツ振興	① →		② →			R8~R9 : ① 園内を活用したスポーツイベントの誘致及び開催 R10~R12 : ② 指定管理者変更時に事業継続検討
万博記念公園駅前周辺地区活性化事業の推進(再掲)	→					R8 : アリーナ等の建設及び交通環境整備に関する工事に着手 R12 : アリーナ(第1期)開業